

electro-harmonix

DELUXE MEMORY MAN

ANALOG DELAY WITH CHORUS / VIBRATO

Electro-Harmonix Deluxe Memory Man (with Chorus/Vibrato) をご購入いただきありがとうございます。本機はオリジナルのDeluxe Memory Manの完全リイシューモデルです。よく取扱説明書をお読み下さい。

電源について

付属の専用ACアダプターにて電源を供給して下さい。誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります。また、誤ったACアダプターの使用が原因での故障については保証対象外となります。

操作方法やコントロールについて

まずギターから本機のINPUT ジャックにつなぎ、OUTPUT ジャックをアンプへつないで下さい。他のエフェクターと一緒に使う場合には、好みのサウンドが出せるよう接続を工夫しましょう。フットスイッチ（本体のプッシュスイッチ）で、エフェクトのON/OFF をします。DIRECT OUTからは、スイッチのON/OFFに関わらず、ダイレクト音（ドライ音）が出力されています。LEVELコントロールは、最も強くピッキングしたときにOVERLOAD LEDが点灯するようにセットします。レベルコントロールの上げすぎは、音が歪む原因になるので注意して下さい。

BLEND コントロールは、ダイレクト音とエフェクト音をミックスするのに使用します。センターポジションで、両方の音が同じ音量でミックスされます。FEEDBACK はディレイのリピート回数を決定します。FEEDBACK のセッティングを上げすぎると、発振します。またショートディレイでFEEDBACKを少し高めに設定すると、リバーブの様な効果を得ることができます。リバーブの様な効果を得ることができます。

DELAYコントロールでディレイタイムの設定をします。FEEDBACKを高めに設定した状態でDELAYを上げていくと、奇妙かつ不気味なピッチシフトの効果を得られます。

DEPTH コントロールはディレイ音にかけるモジュレーション量の設定で、CHRS/VIBR スイッチがCHRSだとゆっくりな、VIBRだと速い効果を得られます。このコントロールでできる「ドップラー・ピッチシフト」の作り方をお教えします。用意するものはギター・アンプ、そしてDELUXE MEMORY MAN。まずCHRSにセットして、DELAYを少々、BLENDはセンターに、コーラスは多めに、FEEDBACKも高めに設定します。尚、気に入ったセッティングは書き留めておけば、次回演奏時に参考にすることができます。

最後に、使わないときは電源アダプターを抜いておきましょう。また、使用中/保管時いずれの場合でも高温多湿な場所は避けて下さい。

Rock'n'Roll!!!